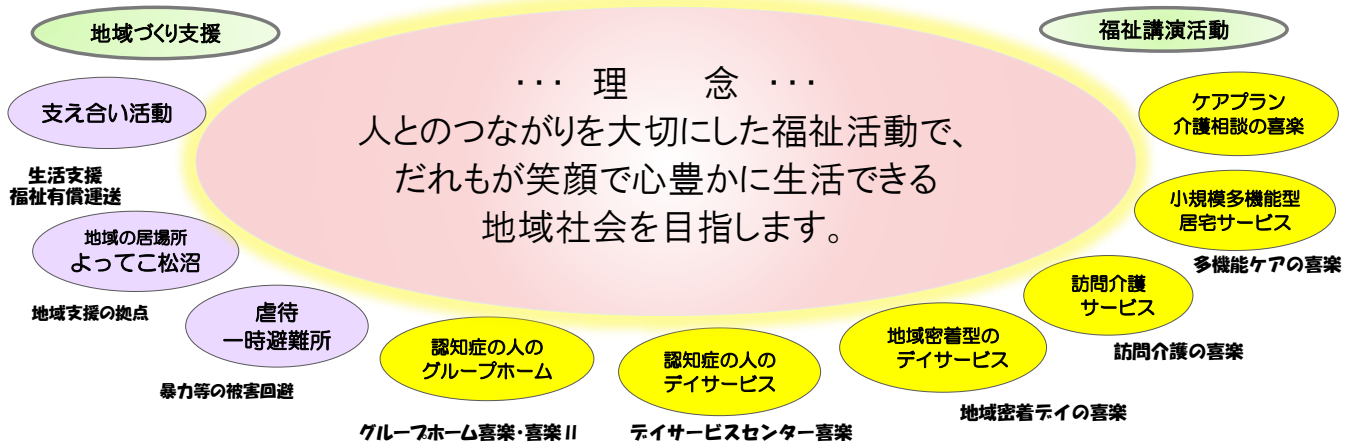


令和3年度 事業報告書  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

NPO法人お互いさまネットワーク



法人指針

1. 地域の人から頼られる介護福祉活動を提供するために成長する。
2. 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
3. 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

〒374-0057 群馬県館林市北成島町1829-5

代表電話 0276-70-1326 代表FAX 0276-70-1327

<http://otagaisamaegao.net/>

お互いさまネットワークホームページ

令和3年度 活動の概要

1. 令和3年度の下記の法人目標に基づき活動を進めてきました。

①法人の安定経営の前進

令和元年度、2年度と損失を計上したことから令和3年度は297万円の利益を目指し、介護保険の利用者確保を意識し活動してきました。その結果、当年度は632万円の利益を出すことができました。

②働きやすい職場の構築 チェック&アクション25実施⇒改善目標確定⇒改善計画策定

令和3年8月に全職員で雇用管理改善チェックリスト25項目を実施しました。結果、満足度は管理者80.1%、職員77.1%となりました。このチェックリストに基づき「改善会議メンバー」によって2項目の改善項目を決定し、令和4年度に改善実施します。

③虐待に対する一時避難所の設置

コロナ禍によって、虐待が増加しています。虐待は被害者を避難させることが急務です。館林において避難させるシェルターがないことから設置を目標に掲げました。

館林警察、館林市、群馬県と話し合いを重ね、運営しているNPO法人の助言を受け令和3年12月からアパートを借用して「虐待一時避難所」の運営を開始しました。当法人では避難者の生活を支援します。現在まで4件8名の館林市民が利用しました。避難所の必要性を実感しました。

2. 新型コロナウイルス感染

令和4年2月15日「多機能ケアの喜楽」の利用者に発熱があり、事業所で抗原検査を実施した結果「陽性」となり、利用者・職員の全員に抗原検査を実施しました。また「多機能ケアの喜楽」では通い・泊りのサービスを中止し、全利用者宅に訪問や電話での支援に切り替えました。最終的には利用者11名・職員6名の感染となりました。感染が収束した3月1日からは通常運営となりました。利用者やそのご家族には、大変なご迷惑を掛けてしまいました。現在全事業所でさらなる感染予防に努めています。

3. 「法人戦略5年後ビジョン」最終年度

令和3年度は「法人戦略5年後ビジョン」2017～2021年度の最終年度となっています。5年間の評価を行い、新たな「法人戦略5年後ビジョン」の策定年度となっています。